

【〇介護人材の確保・育成、定着に向けた取組支援】

施策名: 中核的介護人材の育成支援モデル事業

令和7年度補正予算 50百万円

社会・援護局福祉基盤課
福祉人材確保対策室
(内線2849)

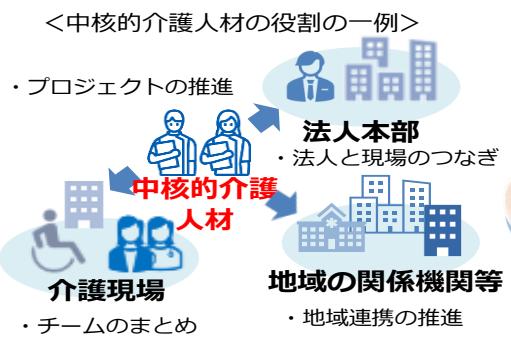
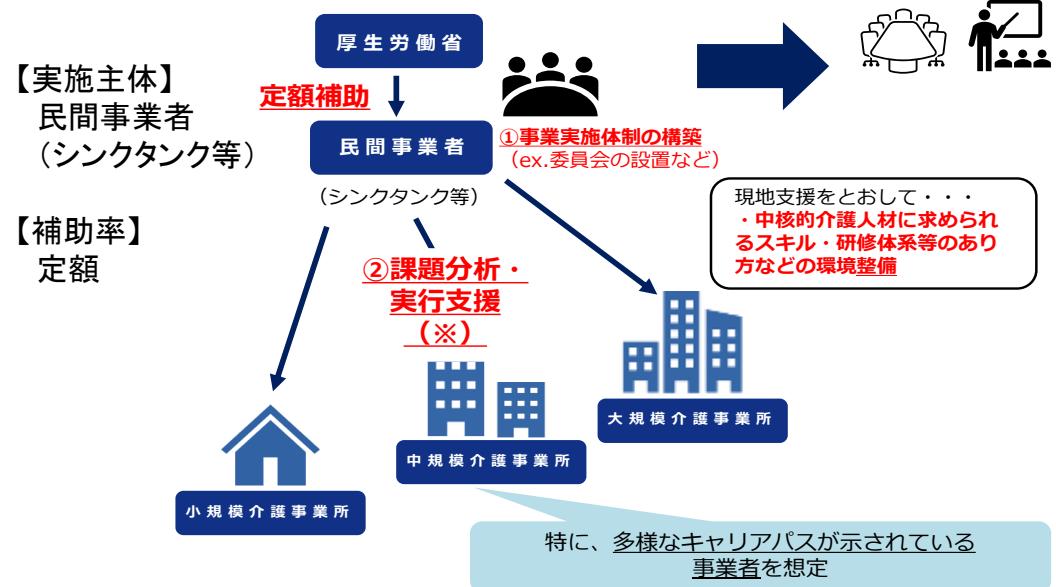
① 施策の目的

多様なキャリアの選択肢を示し、自身のキャリアを選べるようにしていく「山脈型キャリアモデル」の普及を進めているが、介護人材の定着・確保をに向けたキャリアアップを図る上で、法人と介護現場の間をとりもつことや、現場におけるチームリーダーや経験が浅い者への研修を行う等といった、中核的な役割を担う人材の育成についても検討し、介護人材の離職防止・定着促進を図る。

③ 施策の概要

多様なキャリアパスが示されている事業者を対象に、民間事業者の課題分析・実行支援を通じて、中核的介護人材として必要とされるスキルやそれに伴う研修などの育成支援のための環境整備をモデル的に実施し、普及促進を図る。

④ 施策のスキーム図、実施要件(対象、補助率等)等



<中核的介護人材の役割の一例>
中核的人材に求められる役割として、例えば、介護チームのまとめ、法人本部と現場のつなぎ、プロジェクトの推進役、地域の関係機関との連携の推進役などが考えられる。

I			II			III			
1	2	3	1	2	3	4	5	1	2
○									

参考: 山脈型キャリアモデル



⑤ 施策の対象・成果イメージ(経済効果、雇用の下支え・創出効果、波及プロセスを含む)

本事業によるモデル構築、横展開によって、中核的介護人材の育成が促進されることにより、介護人材の離職防止・定着促進が図られる。